

(様式第 1 号)

事業計画書

① 事業名 (目指す将来像)	()
② 事業のスケジュール	
③ グループ及び県関係課の構成	
④ 現状と課題	
⑤ 事業内容	
⑥ 事業実施による効果	
⑦ 事業を協働して行う必要性及び協働の効果	
⑧ 各法人（任意団体）及び県関係課の役割分担	
⑨ 次年度以降の展開	
⑩ その他	

※ 別紙に参考資料を添付してもかまいません。

※ 各項目の枠の大きさは自由に変えていただいてもかまいません。その結果、2枚以上になってもかまいません。

※ （目指す将来像）については、宮崎県総合計画長期ビジョンに掲げる次の3つの目指す将来像のうちいずれか1つを選択して記載すること

- | | |
|--------|--|
| 目指す将来像 | 1 一人ひとりが生き生きと活躍できる社会
2 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会
3 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会 |
|--------|--|

事業計画書

① 事業名 (目指す将来像)	買い物くらしサポート事業 (安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会) <u>※(目指す将来像)については、宮崎県総合計画長期ビジョンに掲げる3つの目指す将来像のうちいずれか1つを選択して記載すること</u>
② 事業のスケジュール	令和7年8月 ふれあい市場の開催日の検討 9月～ふれあい市場実施、宅配サービス及び世代間交流事業の実施に向けた準備 10月～宅配サービス及び世代間交流事業実施 令和8年3月 事業の完了及び実績報告 ※月に1回程度、構成団体と情報共有のための会議を行う。
③ グループ及び県関係課の構成	特定非営利活動法人 ◎◎ 所在地 ○○市○○町 連絡先 ○○○○-○○-○○○○ 有限会社□□運輸 所在地 ○○市○○町 連絡先 ○○○○-○○-○○○○ △△生活協同組合 所在地 ○○市○○町 連絡先 ○○○○-○○-○○○○ 県××課(○○担当) 関係課の選定にあたっては、県ホームページ「組織一覧」を参考にしてください。
④ 現状と課題	(どのような地域課題があるか、具体的に社会ニーズはあるかについて記載してください。) 経済産業省の発表によると、高齢化が進み、交通手段が限られる地方都市や大都市近郊、中山間地域などにおける買い物弱者は、全国で約700万人程度であり、その数は増加傾向にある。私たちが住む○○町でも付近には商店がなく、町の調査では約100

	人が、最寄りのスーパーに行くのに、自動車か運行数の少ないバスに頼らざるをえない状況にあるとの調査結果がある。 毎日の生活に支障があるばかりか、買い物には、日用品や食料品を単に買うだけでなく、店員とコミュニケーションを取ったり、様々な商品から欲しい物を選ぶ楽しみがある。高齢者のひとり暮らし世帯が増え、地域とのつながりが薄くなる中で、買い物時の楽しみが奪われ、1日の内で誰とも話さない高齢者がいたり、以前は高齢者が買い物に来ることで、健康かどうかを確認できていたが、それもできない状況になりつつある。
⑤ 事業内容	(課題をどのように解決するか、具体的な事業内容について記載してください。) 買い物弱者の解消と高齢者支援のために下記の事業を実施する。 ① ふれあい市場の開催 〇〇町▲▲地区公民館と●●地区公民館を利用し、それぞれスペースの半分をふれあい市場とし、週1回食料品や日用品を揃えた市場を開催する。 また、残り半分のスペースは、茶菓子を持ち寄ってもらい、誰でも気軽に利用できるお茶の間とする。 ② 宅配サービスの充実 ふれあい市場の開催時に、移動が困難な高齢者には、ご用聞きをして商品を自宅まで宅配する。 ・商品カタログの作成 ・高齢者世帯マップの作成 ③ 地域住民のつながりの充実 〇〇町▲▲地区公民館と●●地区公民館を利用し、ご近所さんや住民同士のつながりが深まるように、世代間交流事業を週1回程度行う。 ・おばあちゃんの知恵袋講座 1ヶ所につき5回程度 ・竹細工や折り紙、昔遊び 1ヶ所につき10回程度 なお、事業実施の様子をブログ等に掲載する。
⑥ 事業実施による効果	(地域課題がどのように解決されるかについて記載してください。) ・買い物弱者の困窮を和らげ、生活不安の解消につながる。

	・高齢者の居場所づくりや世代間交流により高齢者の生きがいくりにつながる。 ・買い物時のコミュニケーション、宅配サービスにより高齢者の健康状態を確認できる。 ・住民同士のつながりが深まることにより、地域力が向上する。
⑦ 事業を協働して行う 必要性及び協働の 効果	(なぜグループの構成団体と協働を行うのか、協働して事業を実施することで、どのような効果が期待されるかについて記載してください。) NPO法人◎◎ これまで、独自に商品を買って宅配をしたりしていたが、物品の運搬手段が個人の自動車、運搬できる商品数も限られていた。 車の貸し出しや空きスペースの活用により、運搬量を増やすことができ、より多くの高齢者のニーズに応えることができる。 また、試食販売をすることで、コミュニケーションを取り、買い物の楽しみや充実感を一層味あうことができる。 有限会社□□運輸 日々の運送業務の中で、個々の社員では、ひとり暮らし高齢者の状況を把握していたが、その情報をどこに伝えればよいか、どう活かしたらいいのかわからなかった。この協働事業により、社員が把握している情報をNPO法人◎◎に提供し、高齢者の見守りをきめ細やかに行えとともに、車の空きスペースを活用し商品を運搬することで、会社としても地域貢献に取り組める。 △△生活協同組合 現在の所、生協においても宅配サービスは実施しているものの、中山間地域で実際に商品を手に取り、購入したい高齢者のニーズには十分に満たすことができていない。人間の生活の中で「食」は大変重要であるのに、買い物すら思うようにできない不安を解消し、暮らしを豊かにすることは、当組合の理念にも合致する。 県××課（○○担当） 本事業は中山間地域の買い物弱者への支援を目的にしているが、高齢者の居場所づくりなど、福祉部局にも関わる事業であるため、県庁内のとりまとめや他地域での成功事例や活動団体の紹介などをお願いしたい。
⑧ 各法人（任意団体） 及び県関係課の役割	(それぞれの役割について記載してください。なお、県の役割として、庁内関

分担	係課との調整や他地域での事例紹介などが挙げられます。) 特定非営利活動法人〇〇 ①本事業のコーディネート ②ふれあい市場開催運営 ③宅配サービスに係る商品の配送 ④世代間交流事業の開催 ⑤ブログでの情報発信 有限会社□□運輸 ①使用していない車の貸出 ②運搬車両の空きスペースを利用し商品を登載・各公民館までの運搬 ③高齢者世帯マップの作成 △△生活協同組合 ①ふれあい市場での試食販売スタッフ ②商品カタログの作成 ③不要になった買い物かごの提供 県××課（〇〇担当） ①県庁関係課との調整 ②他地域の事例や活動団体の紹介 ③事業内容への助言
⑨ 次年度以降の展開	(次年度の具体的な事業内容や取組方針などを記載してください。) ・ 地区のイベントや学校行事等にリンクして出張ふるさと市場を開催する。 ・ 高齢者マップをもとに定期的にお宅訪問し、高齢者の様子を民生員の方や、地区社協につなげる。 ・ 次年度以降は〇〇財団の助成事業を使い、事業実施をする予定である。
⑩ その他	特になし。